

1 災害情報の標準化に関する研究

災害時の情報共有に関する分析には、図 1-1 に示すように政府行政組織内、地方自治体内、地域・住民レベルというような同一レベル内における同質の情報共有に関する横の分析と、これらの異なるレベルの組織間で異質の情報を共有するハード、ソフト、システム等に関する縦の分析がある。災害情報の標準化に関する研究では、これら横と縦の情報共有の分析を、調査、分析するとともに、減災情報のマネージメント手法についても研究する。これらの研究の成果は、減災情報共有プラットフォームの構築における基本的な情報共有の規範、ハード、ソフト、システム的设计に反映されるだけでなく、災害対応の中心となる自治体における減災情報共有システム的设计に反映されることを目指すものである。

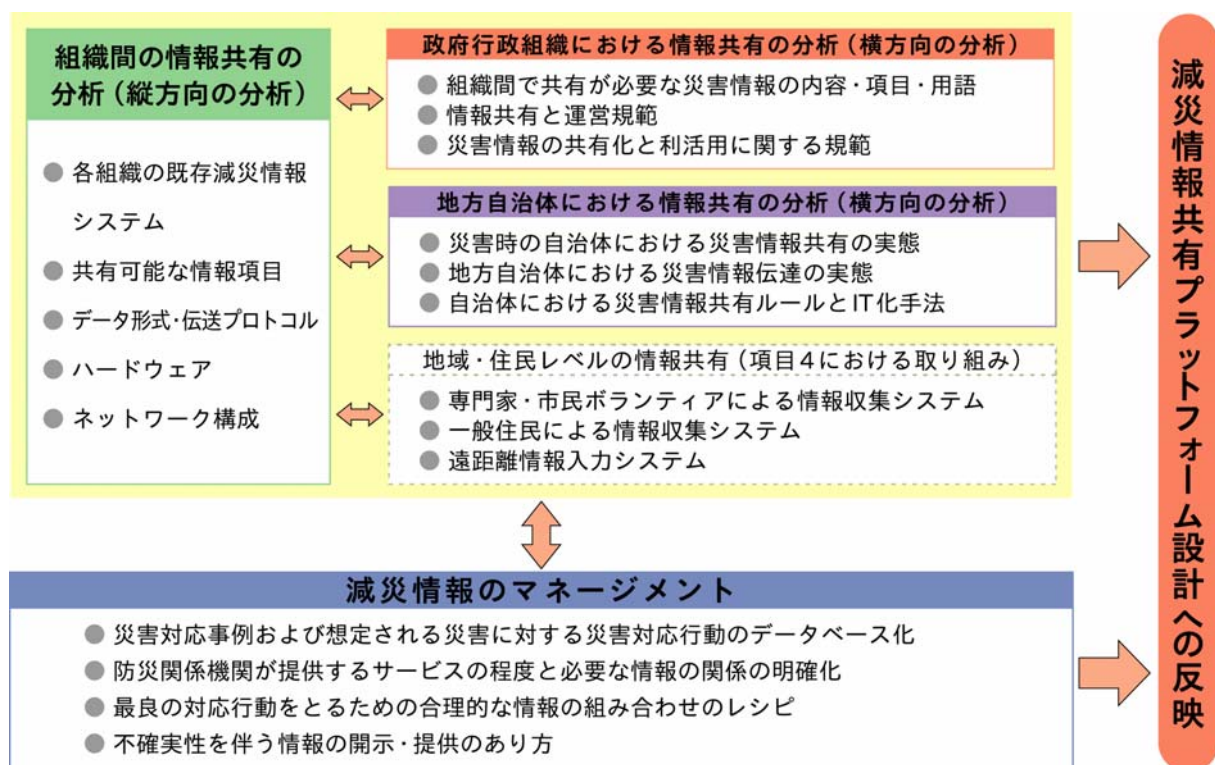


図 1-1 災害情報の標準化に関する研究の概要

本研究は、表 1-1 に示すサブ研究テーマを各研究機関が担当しているとともに、これら研究機関によって構成される災害情報標準化WG（WG 1）として活動している。平成 16 年度のWG 1 の活動は、WGを構成する研究機関の研究者に限定せず、本研究プロジェクトの研究者が自由参加形式で多数加わり、災害情報標準化に向けた議論を活発に行ってきた。平成 17 年度については、減災情報共有プラットフォームを構成する情報コンテンツに関する枠組みとして、プラットフォームで流通させる情報項目を提示する役割を果たすため、減災情報テーブルを作成するとともに、情報項目のスキーマ構築に向けた検討を行った。

表 1-1 における 1.5 節の研究については、平成 17 年度のサブ研究テーマとして挙げていなかったが、最終年度に減災情報共有プラットフォームのプロトタイプを構築する上で、前述のよう

に平成17年度にWG1の活動成果として整理しておく必要があるため、ここでまとめておくこととした。なお、1.5節においては、減災情報テーブル作成についてはWG1を構成する3研究機関の共同研究成果であり、またスキーマ構築については、防災科学技術研究所が研究を担当したものである。図1-2に減災情報テーブル作成のフローを示した。これら一連の作業を、防災科学技術研究所が主体的に実施したため、1.5節の執筆については防災科学技術研究所が担当した。

表 1-1 本研究を構成するサブ研究テーマと研究担当機関

節	サブ研究テーマ名	研究（執筆）担当機関
1.1	防災情報の組織間共有化に関する研究	消防庁
1.2	地方自治体における防災情報の共有化に関する研究	防災科学技術研究所
1.3	共通的な災害情報項目	防災科学技術研究所
1.4	災害情報のマネージメントに関する研究	東京大学生産技術研究所
1.5	減災情報テーブルの作成	防災科学技術研究所

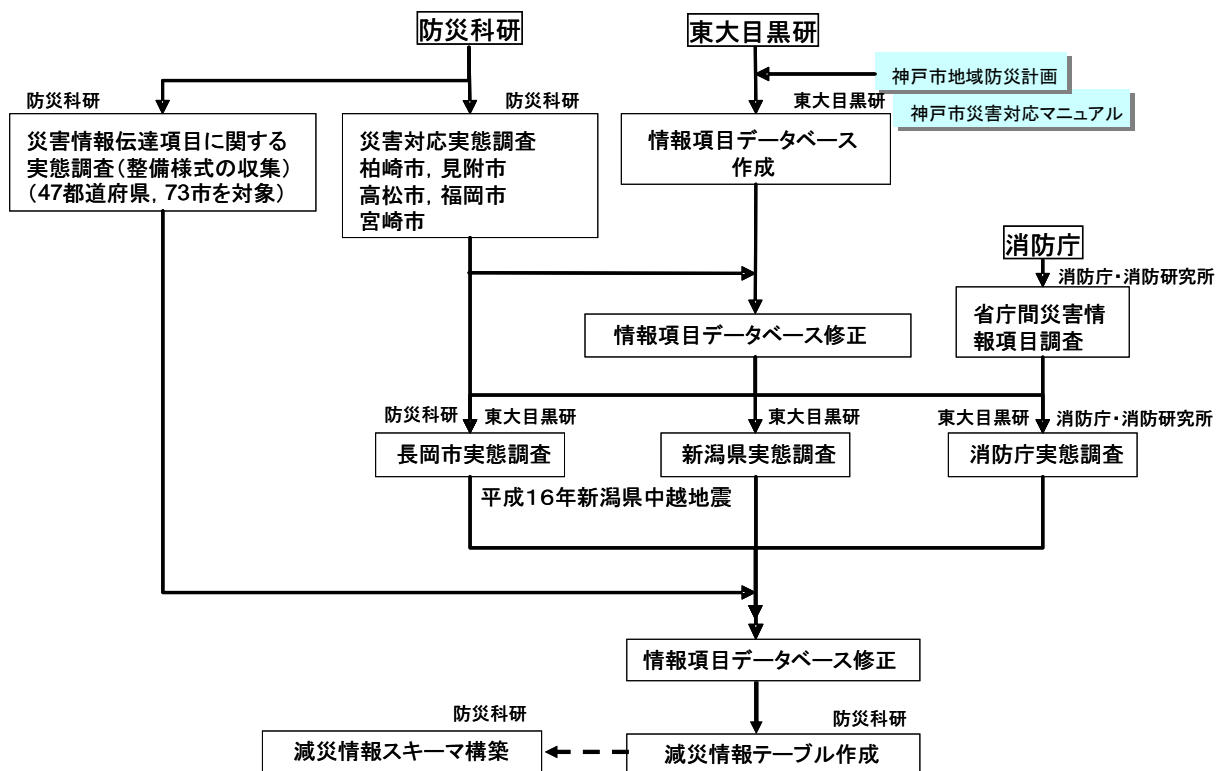


図 1-2 減災情報テーブル作成のフロー